

科目名	専門特殊講義 I (実践特許法)
	知的財産活用による事業戦略
教員名	杉山 務

### 【授業の内容】

身の回りにある製品や企業を発展させた製品について、知的財産制度がどのように活用されたかを見ることにより、将来の権利の活用と新しい製品の開発方向を検討します。

### 【到達目標】

知的財産権が活用されている事例を理解し、各事例の重要な面を説明できるようになり、合わせて知的財産の重要性と有効性を、事例を挙げながら説明できるようになります。

### 【授業計画】

第1回	オリエンテーション：社会・経営の変容
第2回	イノベーションモデルの変遷
第3回	知財マネジメント
第4回	標準化
第5回	市場形成
第6回	技術相互利用
第7回	部品主導型モデル
第8回	完成品主導型モデル
第9回	ビジネスモデル
第10回	ブランド
第11回	中堅・中小企業の知財
第12回	ビジネスモデル開発競争
第13回	事業戦略，研究開発戦略，知財戦略の一体化
第14回	企業経営における知財人財
第15回	全体まとめと最新知財情報の紹介

### 【授業の進め方】

テーマ関連の重要な点を解説し、受講生の疑問点やそれに対する意見を踏まえた相互の議論交換により授業が進みます。

### 【教科書(必ず購入すべきもの)】

追って指示：

「事業戦略と知的財産マネジメント」特許庁 工業所有権情報・研修館（企画）を検討中

### 【参考図書】

- ・Web：平成26年度知的財産権制度説明会(初心者向け)テキスト  
[http://www.jpo.go.jp/torikumi/ibento/text/h26\\_syosinsya.htm](http://www.jpo.go.jp/torikumi/ibento/text/h26_syosinsya.htm)
- ・産業財産権標準テキスト総合編第4版 工業所有権情報・研修館 2014年4月 720円

### 【具体的な評価方法・基準及び評価比率】

定期試験 50% 授業内小試験 30% レポート・課題 10% 受講態度 10%

### 【履修上の心得】

企業の顔として馴染みのブランドがあり、これを支えている技術があり、技術に関する権利が保護されることにより企業の持続と発展が実現されています。このことを理解するには、自分の立場を当事者に置き換えての、考えながらの受講が求められます。

### 【科目のレベル、前提科目など】

知的財産の世界は変化が激しいことから、新しいことへの知識欲や未知への知的好奇心があれば面白い科目であり、授業の理解を助ける有用な手段となるでしょう。